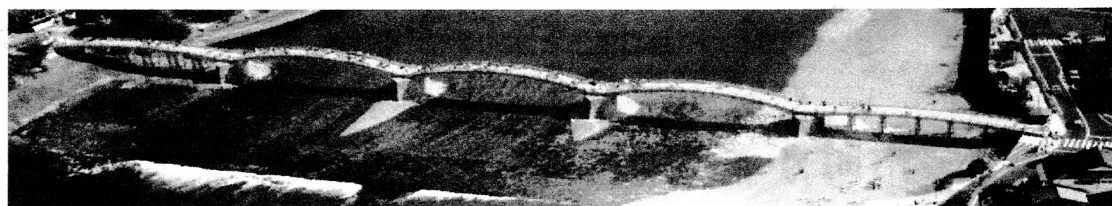




YAMAGUCHI UNIVERSITY

山口大学



山口県土木建築部道路整備課 セミナー

山口県の橋梁を考える(13)

～市町が管理する橋梁の長寿命化計画実施例～

日時：10月19日(金)13時から

場所：山口大学常盤工業会館2階会議室 (山口大学工学部前)



【主催】

山口県 土木建築部道路整備課 市町道班

〒753-8501 山口市滝町1番1号, inoue.hajime@pref.yamaguchi.lg.jp

山口大学名誉教授 宮本 文穂

〒659-0014 芦屋市翠ヶ丘町20番9-405, miya818@yamaguchi-u.ac.jp

山口県の橋梁を考える(13)



～市町が管理する橋梁の長寿命化計画実施例～

山口県は三方を海に囲まれ、約1,500kmの海岸線を有します。また、中国山脈によって山陽側と山陰側に分断されており、気象特性などに大きな地域差が見られる上に、平地が乏しく地形が錯綜して急傾斜地が多い特徴があります。このような地理的特徴を有する山口県では、現在約4,400橋の管理橋梁のほかに13市、6町の市町管理の中小スパン橋梁を含めると、実に14,000橋に上る膨大な量の橋梁ストックが整備されてきています。現在、山口県と各市町が連携してこれらの既存橋梁の長寿命化のための計画的維持管理を、定期点検データや詳細調査データを得ることにより実施しようとしています。しかし、地理条件、気象条件の異なる各市町間の橋梁点検に関する取組みや健全度評価、補修・補強方法などに関する情報交換が十分とは言えない状況がみられ、将来同じような不具合・失敗例が繰り返されることが懸念されます。

そこで、山口県土木建築部道路整備課と山口大学 宮本文穂名誉教授が共同して、県内各市町間や先進的な他府県の例などに学ぶなど継続的な情報交換の場として、「第13回山口県の橋梁を考えるセミナー」を計画しました。第13回目となる本セミナーでは、全国的組織として新たに設立されたインフラメンテナンス国民会議の目指すところと具体的活動の現状などを紹介してもらいます。また、国民会議「ちゅうごく」フォーラムでの具体的活動例として、山口県周南市で先進的に取り組んでいる「しゅうニャン橋守隊(CATS-B)」結成の経緯と今後の活動方針・課題などを紹介してもらいます。さらに、引き続き、県内の代表的な市町での橋梁長寿命化計画策定後の具体的な実施例を含めた、評価・検証、見直し(PDCA)過程の独自の考え方等を具体的に紹介してもらいます。このような県内の既存橋梁の長寿命化計画とその実施、検証を通じた安全で安心な地域作りを目指して、セミナーを企画しましたのでご案内します。ご多忙のことと存じますが、是非とも多数の関係者の方にご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

セミナーのスケジュール

(敬称略)

時間	内容
13:00～13:10	開会
13:10～14:10 (60min)	基調講演1 ：「インフラメンテナンス国民会議の目指すところと今後」 インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー(広島大学名誉教授) 藤井 堅 氏
14:10～14:50 (40min)	基調講演2 ：「しゅうニャン橋守隊(CATS-B)の活動紹介」 周南市役所 道路課 主査 今井 努 氏
14:50～15:10	休憩(20min)
15:10～15:45	山陽小野田市の橋梁の現状と課題について(35min) 山陽小野田市 土木課 維持係 主任技師 佐久間 庸次 氏
15:45～16:20	田布施町の橋梁について(35min) 田布施町 建設課 主任 鳥上 清史 氏
16:20～16:30	閉会
17:00～19:00	意見交換会 (山口大学常盤工業会館2階会議室)